

# 龍珠超



**R-18**  
FOR ADULT

# OPENING

この本を手にとって頂いてありがとうございます。  
DB本2冊目、そしてまたもやカカベジ18禁、しかも今回はノラジ・リミ共  
100%シリアスな内容です。  
前回のオラ本・アニマルクロックではエ回にE数を割きましたが、  
今回は悟空とベジータ以外のサイヤ人も絡めたストーリーが中心ですので、  
エ回は少なめになっています。

この本のテーマはタイトルそのものが物語ってるのですが  
(タイトルは、安部公房の本から一部変えて使わせてもらいました)、  
ここでいう『故郷』というのは場所のことだけでなく、  
『源泉』とか『血脈』、『信念』、『持つて生まれた性質』…などなど、  
広い意味で考えて使っています。  
『心の拠り所』という感じでしょうか。  
私達二人共、カカベジを含めサイヤ人達に骨抜きにされてまして、  
その情熱をちゃんと話にしてみたかったので、今回はその一部を  
形にできて本当にうれしいです。

甘い要素はひとつもないのですが、寒い冬に心まで凍てつくようなモノを  
描いたつもりはなく、むしろDBへの、そしてサイヤ人達への燃えたいぎる愛を  
これでもかと詰め込みました。  
悟空とベジータ、そしてケモノ達が好きな方が少しでも『燃え』てくだされば  
嬉しいです。

※18歳未満の方の手には渡らないように、ご協力よろしくお願いいたします。

2008/12/29

DOKUGUNRYU

NORAZI & RIMI KOMAKAWA







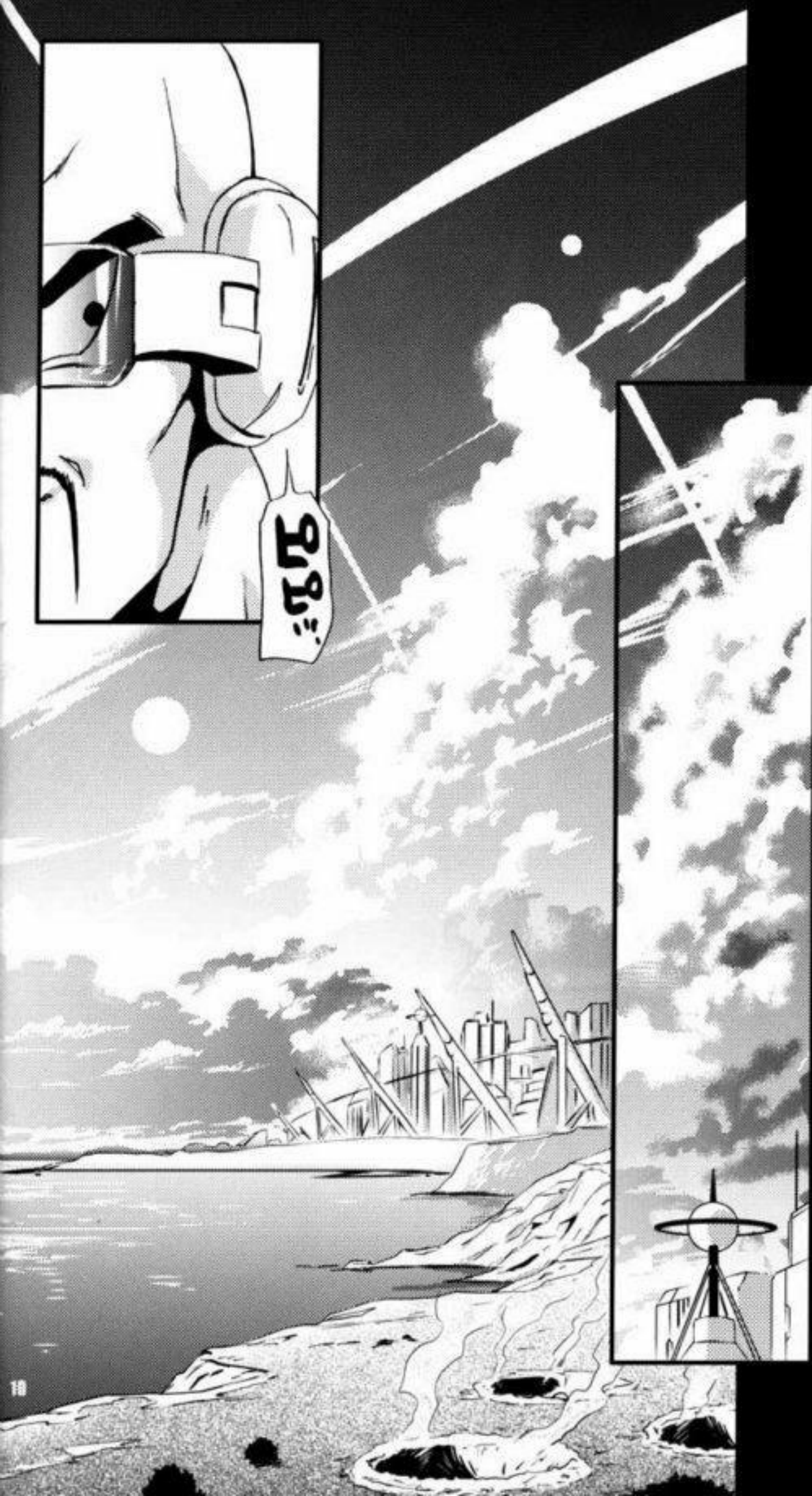


ベジータ!!



今・目・に・映・つ・て・い・る・も・の・は・す・べ・て

”望んでも手に入らない“と  
思っていたものだ



918





ああ



ベジータ、

そろそろ  
行こうぜ



お楽しみのお  
時間だ



血が、好きだった

他人の血、そして自ら流すこと。



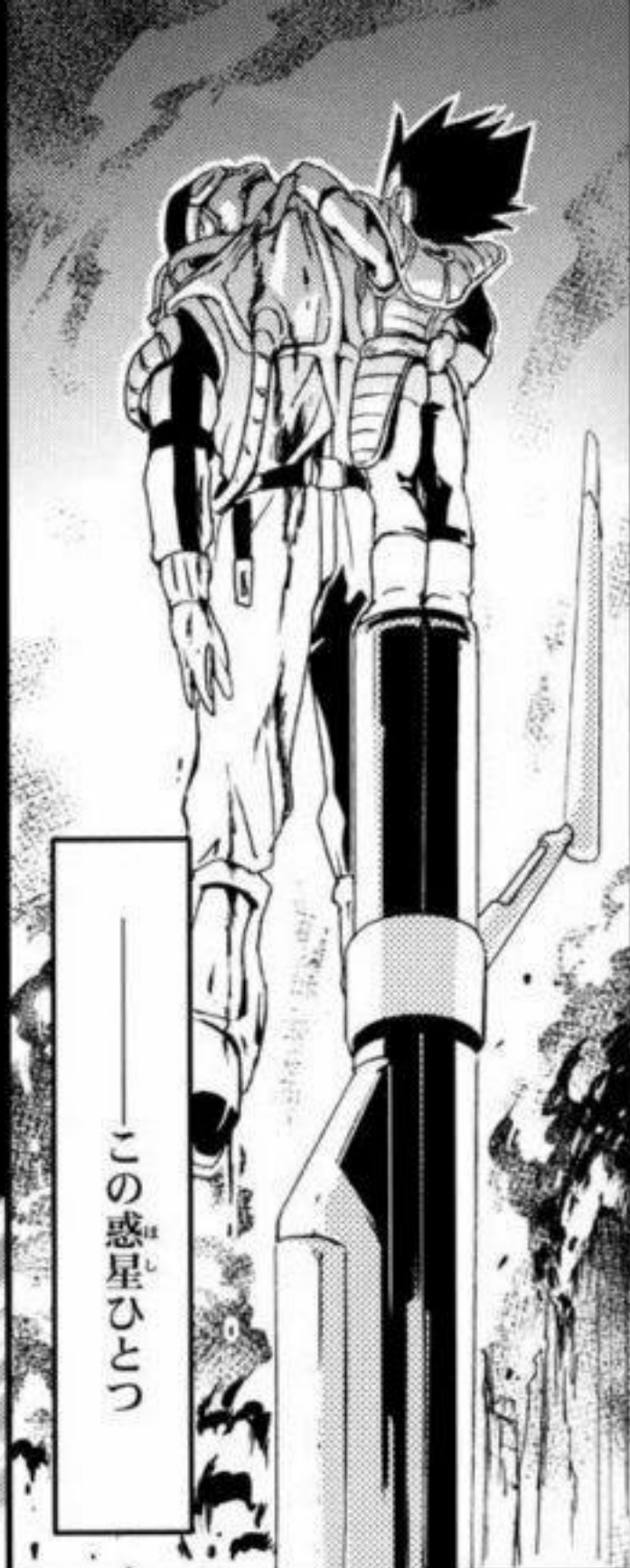
鎖に繋がれたままの現実が、確実に身も心も蝕んでいた

それでも与えられた快樂に、カラダは素直に従った。



この手にできない

ならば壊すだけだ



——この惑星ひとつ



あの空ですら

命を己の糧とする

快樂だけ

ベジータ!

……ジータ……

おまえ……  
今のままじゃ

オレには勝てないぜ



“いつくたばってもいい”  
…そんな眼をしてるな

オレに殺されれば  
本望か？

—  
なら、

終わっちまえよ

…  
ガッ

これでいいんだろ？  
——なあ、

——  
そうだが、

あの日々の中で

それだけが  
ただひとつ  
確かなことだった

……終わっちまったなあ

誇り高き  
サイヤ人の  
王子様



ああ  
全くだ



…ベジータ



都市全部  
吹っ飛ばして  
サッパリしたら—

フリーザに渡すのが  
ますます惜しく  
思えてこねえか？

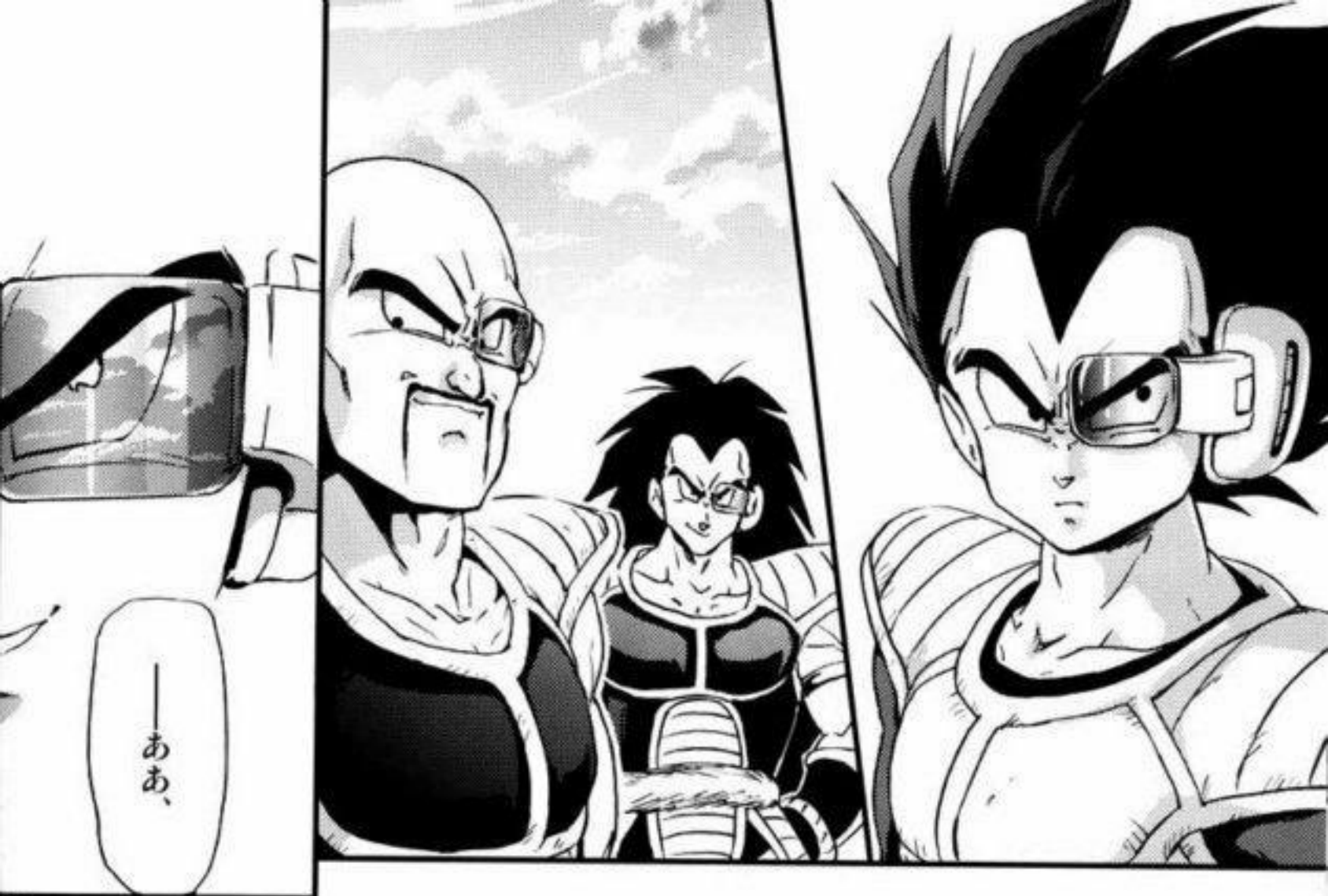


オレたちはそう  
信じてるぜ

あのフリーザを超えて、  
望むものすべてを  
手に入れられる—



いつか…  
何年先になるかは  
わからないが、  
おまえなら…



「必ず——」







よかったあ〜  
気いついたか

やっぱおめえ  
タフだなあ!



…ベジータ、



あれは…  
現実だったのか?  
それとも…



カカ…ロット…?



ん、  
何だ?

どっか  
痛むか?



さっ・つき・の・じ・や  
全・然・足・ん・ね・え・ん・だ

な・あ・べ・じ・ー・た、  
オ・ラ——



き・り・き・き……ッ!!



「オ・レ・に・殺・さ・れ・れ・ば  
本・望・か・っ・じ」



——続・き・や・ろ・う・ぜ、  
お・め・え・も……

あ・れ・で・終・わ・り・に・や  
し・た・く・ね・え・だ・ろ・?

……!!!

バチ

バチ

バチ



何もかも すべてがまるで——





…おめえも…  
こういう続きを  
期待してたんだよな？

ビク、

ふ…  
ふ…

ハハハ…

チユウ…  
…チユウ…

っんう…

ふ…ん…ッ

ビク…



…な？  
おめえん中、  
ビクビクしてっぞ

…は、

！…るせえ…ッ  
きさまの…せいだ…

もっ、

ハハハ…  
ゴロ、

ガキウ…

はやく…ッ

ハハハ…

…マキ…

フ…

ハハハ…  
ハハハ…

ハハハ…  
ハハハ…

ふうん…  
じゃあさ、  
今のおねだりも…

ヒッ…

アッ…

…っあ…

はッ…

おめえのココが…  
オラをすげえ  
欲しがってんのも、

…オラの  
せいかッ!?

おッ…  
うッ…はあッ

…ぐ、ふっ  
ん…ッ

んッ!!



ああ…ッ

ギギッ

はあッ

はん

あ



くはッ…

オラ、限界だ…ッ

中に出すぞ、ベジータッ!!

くう…んっ

!! なッ…  
ま、待て…ッ!

IP!!



たっ たっ たっ...!!

あ...ふ

ふふ...  
ふふ...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...



ん...っ あ...

この...

バカ...っ!!

ん...

ん...ん...ん...

俺達は何のために

こちら管制員

SIDE-NORAZI

どこから来て

現在帰還中の戦闘員は  
第三から第七ハッチに  
着艦せよ

繰り返す――

どこへ往く？





「すまない」だと？



それは誰のセリフだ、  
……「ソングクウ」のか？



——すまねえ  
ベジータ、

おめえに  
ケガさせたのも  
オラなのにな……



まっ……



かつて  
心から焦がれたもの



——消えろ

そして  
誇り高い血が  
求めるものは——



…は…

はあっ



…はあっ



今ヤツの心を  
昂ぶらせるものがあるとすれば

これから先  
戦うことになるだろう  
未知の存在のみ

“力が欲しい——”

その願いの果てに  
失ったはずの、

だが再び  
手に入れた命

——果たすべきことは ただひとつ

許せるものか!!!



親父  
作戦会議だとよ

加わらなくて  
いいの？



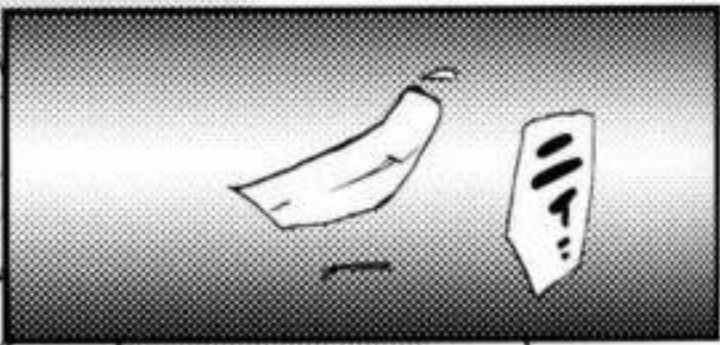
！  
まったく  
どこ行きやがった…

親父イ!!  
——おーい





憎しみの分だけ  
おまえが強くなるのなら  
それだけオレが  
楽しめるんだ――



作戦会議だと!?

——はっ  
アホくせえ  
どうにでもしろと  
言っとけよ

どうせ  
「フリーザ様」にでも  
言われてんだろ?  
「合理的にやれ」  
とでもよ

まあ  
そうだけだよ



カカロット

——キサマのすべてに

浅ましいほどに貪りあっても

決して満たされない

オレの存在を刻みつけてやる!!

キサマがオレにそうしたように

深く、奥まで  
消えることがないほどに

互いの血も肉も、  
魂も——

それこそが獣の  
命のありか



だからって毎回  
死にかかりやいって  
もんでもないだろうよ

親父の言うことは  
もつともだが

オレはそんな  
ママゴトみてえな闘い  
するつもりはねえよ

ハナっからな

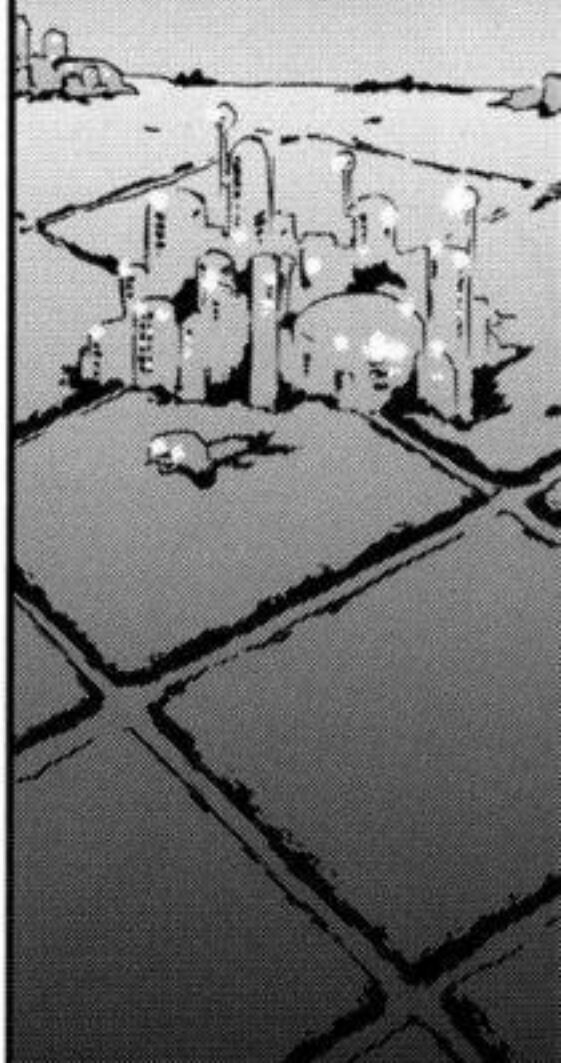


そりや戦闘力は  
多少上がるか  
知らんが…




ああ？

ラディッツ









あいつらの  
言う「戦い」は  
オレ達のと  
は違う

そこは  
頭の悪い  
てめえにも  
わかん  
だろ？

……  
るせえ  
な



あいつらの  
全てを例  
外なく  
滅ぼす  
戦争



オレ達  
のは  
そう  
じゃ  
ねえ

自分  
自身  
が  
生き  
抜く  
ため  
の  
闘  
いだ

# RIMI'S TALK

ここまで読んで下さってありがとうございました！  
私のマンガ、時期的に(まだもや)人造人間との戦いまでの、ベジがまだ超サイヤ人になれていない時で、前の「ア三マル〜」と同じなんですけど、また別の次元と想着て描きました。前に描いた三人、原作の実際の関係からしたらけっこう甘めだったと自分では思うのですが、今回は原作に近づけたつもりです。悟空がベジに敵しいと思われる方もいるかもですが、私としてはああいう自分本位な悟空こそが悟空だと思うんです。それでも自分の妄想脳は三人をあの時点で闘わしたりその上絡ませたり色々してしまうわけですが…。

サイヤ人にとってやはり「戦(闘)いこそすべて」、現実の人間もそうやって生き残ってきたんだなあと考えた時、だからこそサイヤ人の野生の美しさ(悪くいえば野蛮)に惹かれるのかも。私の今回のマンガはある意味ナツパとラディの供養(?)的な意味もあったのですが、また次の機会にバダやタレを出したいなあ…サイヤ人の魅力を描き尽くすまで続けたい。

エロシーンはともかく、今回のピリピリ火花散るみたいなカカベジの反動で、今無性にじっくりねっとりじゃれあう二人を描きたくてます。エンドレス。

では、ノラジのマンガへどうぞ～。



やつらにや  
到底理解出来ねえ  
だろうさ

闘いにや  
死の恐怖が  
つきまとう

…けど闘ってねえと  
生きてる実感が  
得られねえ  
ヘンな話だよな

オレ達は何のために  
生きてんのか  
そして死ぬのか

どうも、ノラジです。  
ケモノたちということで、  
サイヤ人達をいっぱい描けて幸せです。  
本編にターレスを絡ませるわけには  
あんまりいなくて、こちらで描きました。  
カカベジと同じくらい大好きなキャラです。  
ナツパも本編に出す予定だったんですが  
ページ数の都合で泣く泣く省かざるを  
得ませんでした。ごめんナツパ...！  
子ベジとナツパを合わせて登場させる  
予定が...。  
とにかく次ページからのカカベジは  
ブウ編の後が舞台です。  
前回もそうでしたが、  
限られたP数では  
ベジの「ツン」を入れる  
余地がなくて、ちょっと  
さびしいです...。  
それではどうぞ。

## NORAZI'S TALK



それが解らねえなら  
解からねえほど  
欲しくて欲しくて  
たまらなくなるんだ



あの 胸が張り裂けそうになるほど 狂おしい

『生きてる』  
って実感が

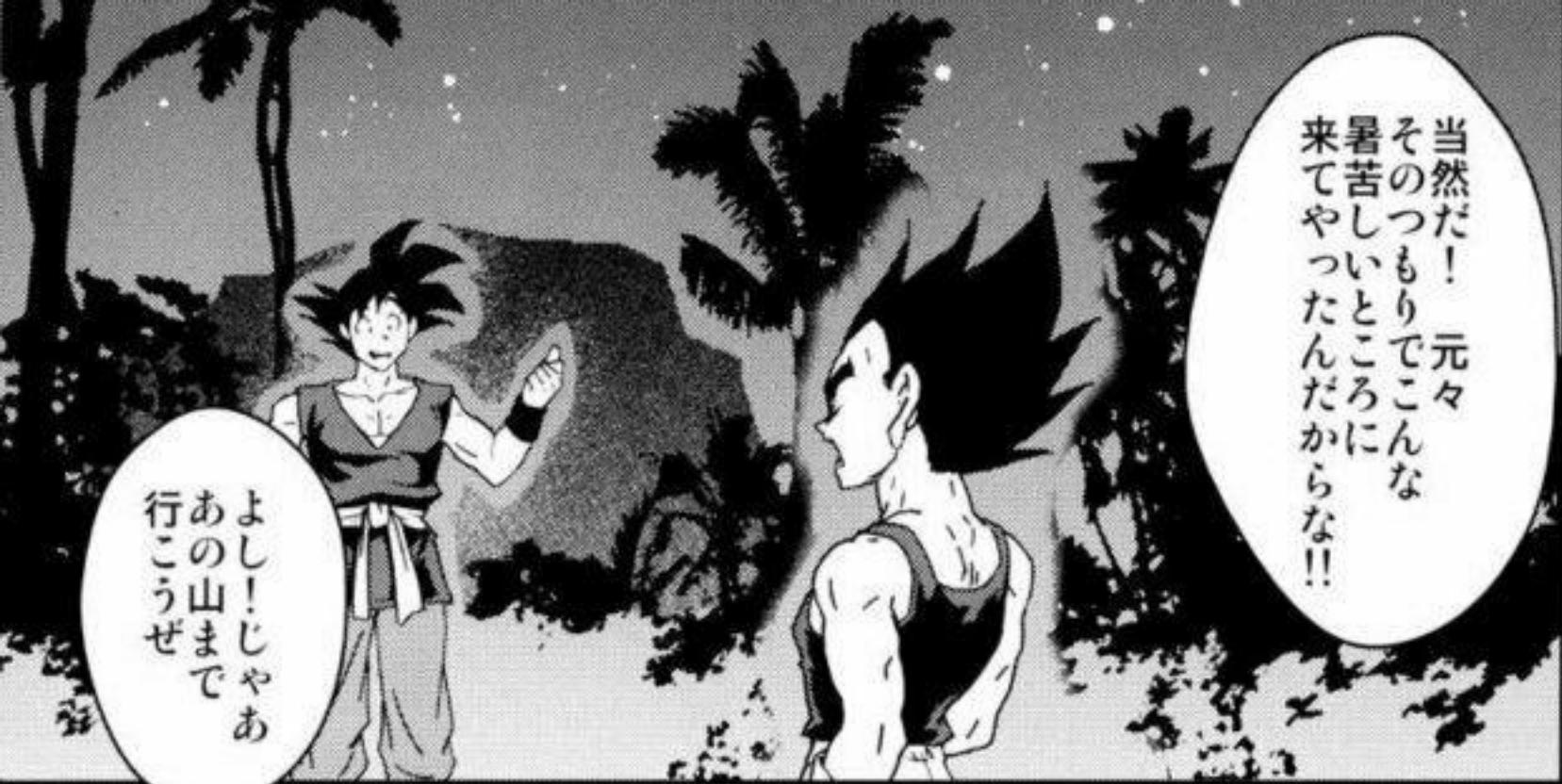
ベジータ！

…カカロット

何やってんだ？  
ポーっとしてよ

ウーブの修行  
終わったから  
今度はオラ自分の  
やるんだけどさあ

どうせなら  
組み手でも  
やんねえか？

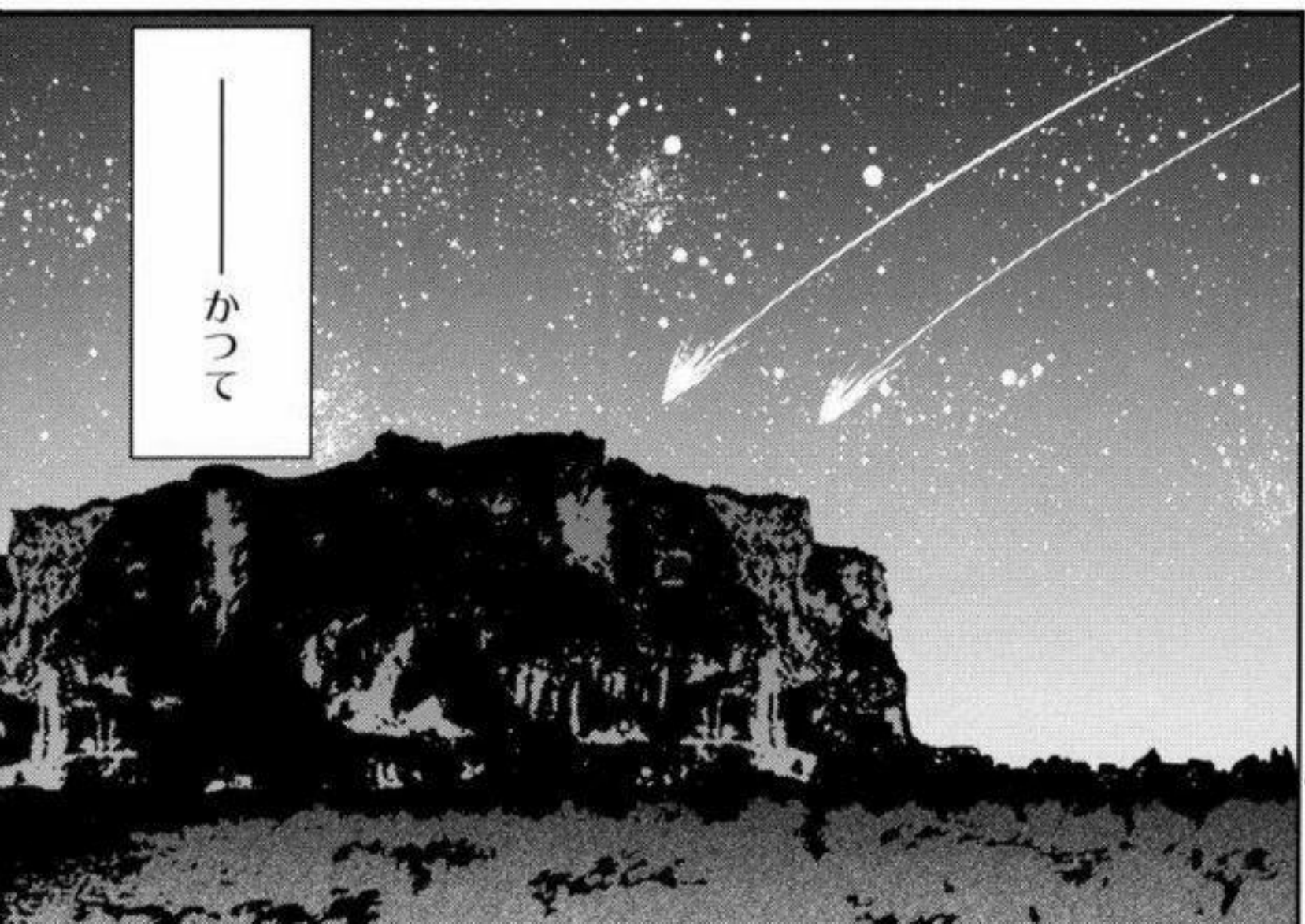


当然だ！元々  
そのつもりでこんな  
暑苦しいところに  
来てやったんだからな！！

よし！じゃあ  
あの山まで  
行こうぜ



バキッ

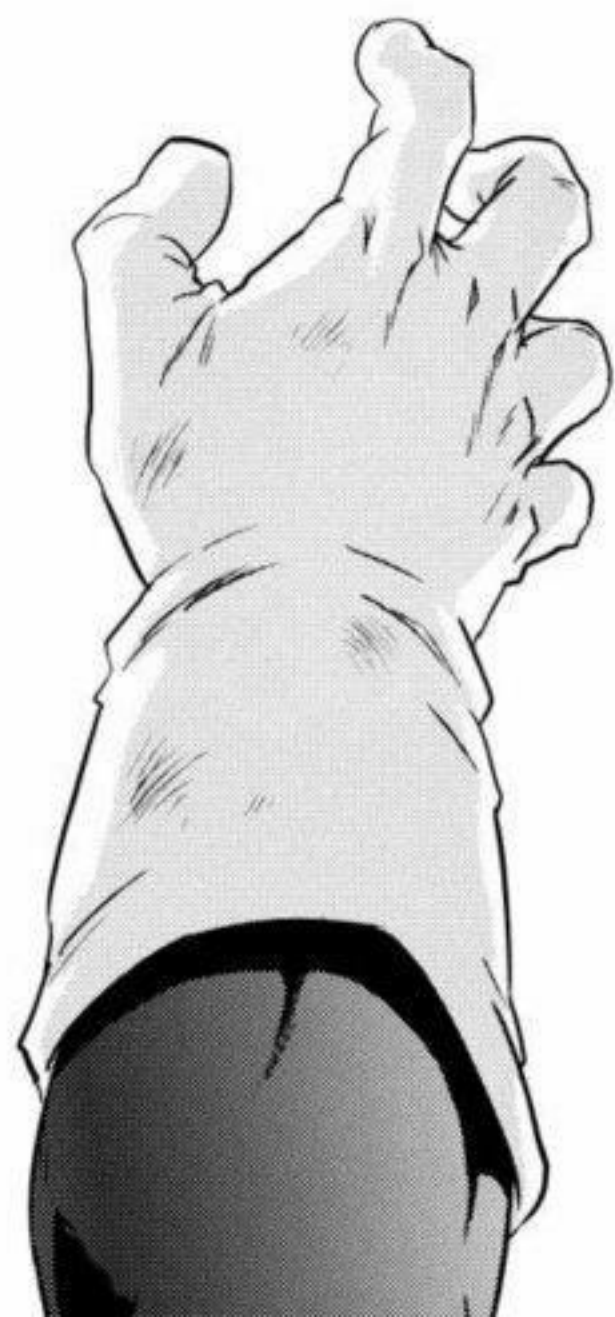


かつて

永遠の命を願い  
行き着いた先の星で  
死を迎えたとき

それまで  
思い出しもしなかった  
過去の記憶を見た

そして  
その映像を時々  
夢に見る





例えば  
こんな夜に

バキッ

ゴウッ





オレたちの……  
血を……  
忘れる……な……



飼い慣らされた  
ペット……には  
ならねえで……  
く……くれよ……



きさまに言われる  
までもない！






……  
ミッ  
〜







フン——  
よくいうぜ



…やるじゃねえか  
ベジータ……



ワクワク……  
つてのも  
もちろんだけどよ



オラ  
なんかドキドキ  
して来ちまった



——ツあ……



ハアッ  
ハアッ



何顔背けてんだ？  
ベジータ……

ここもう  
すっげえヌルヌル  
させてるクセによ……

クキョ……



今度はオラのも  
してくれよ



ぐんっ……

素直じゃねえなあ……  
おめえって





いくぞ

グキッ

グキッ

ッすっつけえ〜〜〜  
キツツう〜〜

つは…ツ

はあ…あツ  
挿れな…あツ  
見るな…あツ  
バカやるろうツ…

カハハハ〜

レキッ

ズ

ああツ…ア…  
カカロツ…  
トお…ツ

やだよ！





楽しみに  
待ってるぜ

わは……っ  
もうオラやべえや  
……ベジータおめえも  
限界近けえだろ？

……いつしよに  
イこうぜつ……!!

うるせえっ……  
二人で……勝手にツ

いきやが……れツツ……

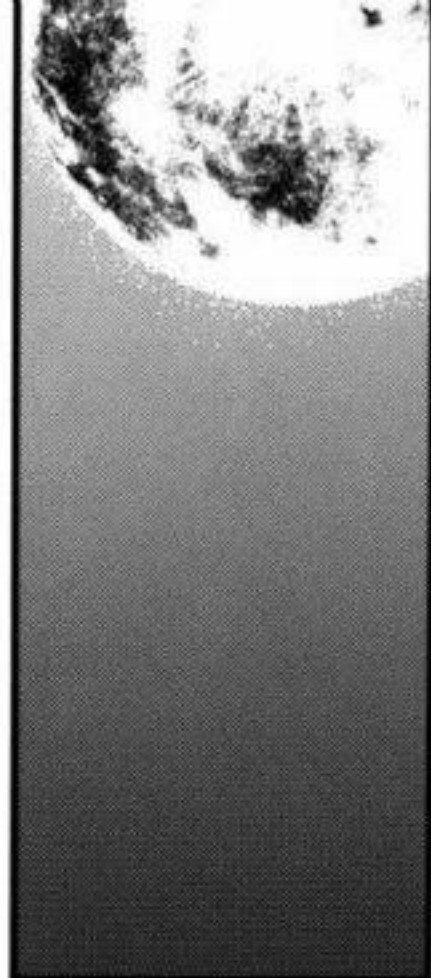
あ……ッ  
あ……ッ  
あ……ッ



はあ...あ...!!

ん...!!

ん...!!





カカロット

ん？



どした？

—



バーダツ……ク



?



当時  
生まれ  
たばかりの  
方  
に  
ご  
い  
つ  
に

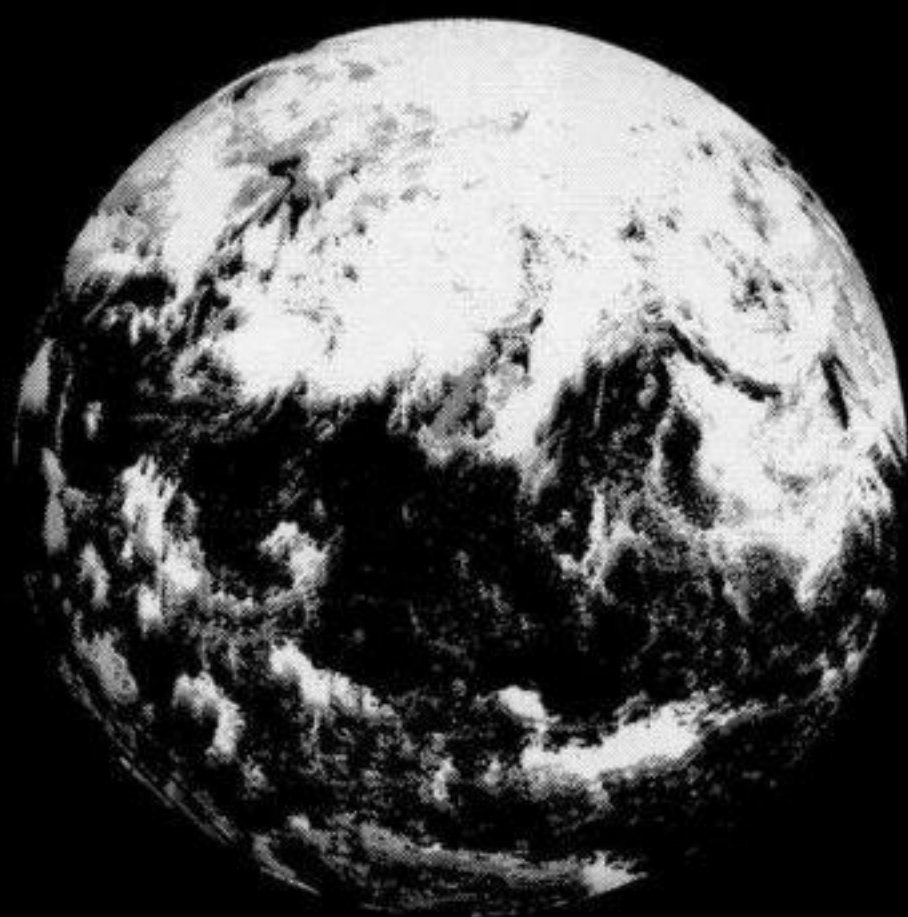
惑星ベジータ  
あの惑星の  
記憶など



支配者達も  
あの故郷も  
すでに無い

それでも  
この惑星の上で  
確信できる

『血』はまだ 確かに生きています



END

## NORAZI

ここまで読んで下さりありがとうございました！  
実はまだ本文作業が終わってないんですが、  
とにかく二冊目を出せて良かったです！  
「アニマル〜」に引き続きサイヤ人＝野生の獣として  
見ているわたし達の作品なので、どうしても殺伐とした  
話になってしまうのですが、なので三冊目を出せたら  
もう少しホットでスウィード？な本にしたいです...。  
扉の文は、すごく好きな詩人・石垣りんの詩を所々  
変えて使わせていただきました。  
腐った内容の本にはありますが...(苦笑)。  
DBもどちらも、作品が好きなことに変わりはないぜ！  
と開き直っておきます！  
ではまた次の本で！

## RIMI KOMAKAWA

ドシリアス、且つ辛口な内容のマンガ×2に最後  
までお付き合い下さってありがとうございます！  
わたし達、この秋でDBに再燃して一年が経ったの  
ですが、まさかDBに、しかもカカベジやサイヤ人達  
にこんなに燃え&萌えをもらって、こんなカタチ  
で表現することになるとは...。  
二人とも、特にサイヤ人に関してですがその他に  
も描きたいことがまだまだあるので、この幸せを  
続けられる限り続けていければなあ。  
さあ、次は何から描きますかノラジさん。  
とにかくカカベジはオフでもオンでも欠かさず  
描きたいわたし達...妄想の限り突き進むぜ!!  
それでは、また次の本でお会いしましょう~。



# ENDING

# INFORMATION

★「毒銃龍(ドクガンリュウ)」は、狛川リミとノラジの二人サークルです。  
2008年5月に活動を始めました。  
スケジュールの都合上、イベント参加は年2回のコミケのみになるかと思  
いますが、DBのカカベジ中心にスローペースで活動予定。  
普段はWEBサイトにて絵を描きだれております(2008年3月～)。  
こちら更新はスローではありますが、興味を持たれた方はのぞいて  
みてください。

★発行物の自家通販は致しませんが、イベントで新刊を出せばそのつど  
書店委託にて通販させて頂く予定です。  
その他今後の予定など全ての詳細はWEBサイトをチェックして  
ください。

★「毒銃龍」WEB→<http://gam.egoism.jp/kill/>  
※サイト名「KILLING SENSE(キリングセンス)」です。

# COLOPHON

DB・カカベジ18禁本  
「ケモノたちは故郷をめざす」

2008年12月29日 発行

発行人: ノラジ/ 狛川リミ © 毒銃龍  
連絡先: e-mail → [doku\\_gun\\_ryu@yahoo.co.jp](mailto:doku_gun_ryu@yahoo.co.jp)

印刷所: (有) 金沢印刷 様

本誌の内容の無断転載・原作者や出版社など全ての公式企業  
への送付・ネットオークションへの出品を禁じます。





20081229  
DOKUGUNRYU  
MORAZI / RIMI KOMAKAWA